

予定表<<2011年2月>>

FEB	主な行事	ランチ	おやつ		Happy Birthday
			午前	午後	
1	火	味噌うどん・ 豚肉とさつま芋の煮物 ・うずらの茹で卵・デコボソ	せんべい・牛乳(1歳)	おにぎり(ふりかけ)・麦茶	
2	水	ポークカレー(雑穀米入り)・りんごサラダ・ブロッコリー・スープ(鶏肉・インゲン)・苺	ビスケット・牛乳(1歳)	ゼリー・牛乳	
3	木	節分会	せんべい・牛乳(1歳)	手巻き寿司・麦茶	
4	金	ご飯・ぶり大根・かき揚げ・味噌汁(えのき茸・白菜)・苺	せんべい・牛乳(1歳)	バナナ・クッキー・牛乳	
5	土	発表会	せんべい・牛乳(1歳)	クワガタ・牛乳	
6	日				
7	月	ご飯(7分搗き米入り)・魚(さわらの)のほろ・ほうれん草とこんにやくのごま和え・かぼちゃの甘煮・味噌汁(大根・わかめ)・苺	せんべい・牛乳(1歳)	焼き芋・せんべい・牛乳	
8	火	体操	せんべい・牛乳(1歳)	サターアンダーギー (沖縄のドーナツ)・牛乳	
9	水	ムサド・ごぼうとコンのサラダ・アボカド・ピーマン・苺	ビスケット・牛乳(1歳)	おにぎり(ひじき)・麦茶	
10	木	(つ)	せんべい・牛乳(1歳)	焼きそば・牛乳	
11	金	建国記念の日			
12	土	豚丼・野菜炒め・味噌汁(にら・わかめ)・みかん	せんべい・牛乳(1歳)	ゼリー・せんべい・牛乳	
13	日				
14	月	保(ふ)	せんべい・牛乳(1歳)	プリン・ゼリー・せんべい・牛乳	
15	火	涅槃会護(あ)	せんべい・牛乳(1歳)	三色団子・牛乳	
16	水	誕生会者(き)	ビスケット・牛乳(1歳)	ポテトキ ・野菜ジュース	
17	木	懇(た)	せんべい・牛乳(1歳)	ゼリー・牛乳	
18	金	英悟0歳児健診?	せんべい・牛乳(1歳)	バナナ・クッキー・牛乳	
19	土		せんべい・牛乳(1歳)	クワガタ・牛乳	
20	日				
21	月	ご飯(7分搗き米入り)・魚(さわらの)のほろ・ほうれん草とこんにやくのごま和え・かぼちゃの甘煮・味噌汁(大根・わかめ)・苺	せんべい・牛乳(1歳)	焼き芋・せんべい・牛乳	
22	火	体操談(も・さ)	せんべい・牛乳(1歳)	サターアンダーギー(沖縄のドーナツ)・牛乳	
23	水	会(ゆ・は)	ビスケット・牛乳(1歳)	おにぎり(ひじき)・麦茶	
24	木	音楽Ⅱ(ひ・す)	せんべい・牛乳(1歳)	焼きそば・牛乳	
25	金	納豆ご飯(7分搗き米入り)・魚(鯛)の酢豚風・味噌汁(もやし・春菊・しめじ)・りんご	せんべい・牛乳(1歳)	玄米フレーク・バナナ・牛乳	
26	土	豚丼・野菜炒め・味噌汁(にら・わかめ)・みかん	せんべい・牛乳(1歳)	ゼリー・せんべい・牛乳	
27	日				
28	月	ご飯(7分搗き米入り)・魚(鯛)の照り焼き・切り昆布とベーコンの炒め煮・甘酢きゅうり・味噌汁(玉ねぎ・小松菜)・りんご	せんべい・牛乳(1歳)	プリン・ゼリー・せんべい・牛乳	



育子園だより 2月号

(2011年) 平成23年2月1日発行



こばと

暦の上では「立春」を迎えますが、寒い日が続いています。インフルエンザ、ノロウイルス等の集団感染を防ぐために、ご家庭と連携をとりながら、お子様一人一人を大切にお預かりさせていただきます。

さて、今月は5日(土)に発表会を行います。本園では子ども主体・子ども中心の活動を大切にしていますので各行事も「保護者に見せる、見栄えのする行事」ではない方向に変わってきています。

また、15日はお釈迦様がお亡くなりになった日で涅槃会(ねはんえ)の式典を行います。お釈迦様が最後に残された言葉は、「すべてのものは移ろいゆく。怠ることなく、つとめなさい」でした。この世は無常(全てのものは常に変化しています)です。今、この瞬間を大切に生きることが幸せへの道しるべと言えます。

さて、今年4月の保育園入園申込み状況は、昨年にも増して0~2歳を中心に増加しているようです。杉並区では緊急対策として、認可保育園の分園新設(杉並区役所の隣り)や各保育園の定員超え受入れ、認証保育所や区直営保育施設を新設するなど、待機児童解消策を講じています。

本園も子ども達の生活環境基準を配慮した上で、若干名の受入れ人数増を考えています。

それでは、庭野日鏡(にわの にちこう)名誉園長の言葉を紹介させていただきます。

園長

感動するあいさつ



例えば、富士山を見て「素晴らしい」と思う、感動する。これは、自然と人間とのあいさつなのだそうです。

私たちはお互いにあいさつをするわけですが、毎日同じ顔の人とあいさつをしていると、あまり感動がなくなってしまいます。刻々と変化しておりますから、毎日同じ顔ではないのですが、とにかく同じように思いがちです。自然と人間とでは、感動することがあいさつだということです。から、お互いに日々会ってあいさつする時は、感動をもってあいさつができると思います。

お釈迦さまは尊く素晴らしい方と見ている一方で、私たちは自分というものの素晴らしさ、尊さがなかなか見えないでいます。ところが、お釈迦さまは、みな同じ智慧と慈悲を持っていると教えてくださっております。私たちはあいさつをするたびに合掌礼拝をするわけですが、それはお互いが持っている宝に気づきなさいということでもあるのです。

毎日同じ顔の人と会っても、そうした一番根本のところ、お互いを本当に敬い、尊敬する、そして感動をもってあいさつをする。そういう人間になっていくことが大切です。

合掌

入退園

今月の入退園はありません。